



おおやまざき

大山崎中学校美術部の作品です

コロナで生活一変

だからこそ



コロナ禍の 街に議会が できること

議員が様々な街の声を聴き、コロナ対策を町に
提言・要望し、4月と5月の臨時会では街の声を
盛り込んだコロナ対策予算を可決しました。

わたしたち町議会は、その対策を必要としている
方へいち早く届けたいと思い、予算などの議案
審査以外に、いま議会がこの街にできることを考
え、6月議会に臨みました。

聴

コロナ対策予算で実施された事業
に対する街の声を紹介

届

予算審査などを通じて町に届けた
街の声を紹介

支

支援が必要な人を支えたい思いを
各議員が一言メッセージに

半月に二度のコロナ臨時会

特別定額給付金を「一日も早く
街の皆さんに届けたい」との町の
思いを受け、4月30日、臨時会を開
催しました。臨時会で特別定額給
付金の補正予算を可決し、5月上
旬から町が給付事務に取りかかっ
た結果、「素早く給付してもらっ
て助かった」と街の皆さんに喜ば
れました。

5月15日には再び臨時会を開き、
町独自のコロナ対策を盛り込んだ
補正予算を可決しました。補正予
算は、上下水道料金（基本料金2か
月分）の減免、町内飲食店対象のプ
レミアム商品券、事業者等に対す
る府の補助金への上乗せ支給や各
種相談受付の拡充、保育・介護・
医療施設に対するコロナ対策物資
購入の補助など。この補正予算に
は、街の声を聴いた議員が提言・
要望した内容が多く盛り込まれて
います。

二度の臨時会では、別室で傍聴
をお願いする、議員や職員の座席
間隔を空けるなどの対策を取りな
がら、予算審査では、議員からコ
ロナ禍を乗り切るための様々な意
見が出ました。

6月議会の一般質問見送り

一般質問は、議員が行政の基本
方針などをただし、住民に明らか
にするために行います。

町議会では、コロナの感染が拡
大し始めた2月から、一般質問を
どうするか議員間で議論してきま
した。3月議会では、色々な対策
案が出たものの、当時の状況から、
通常通り一般質問が行われました。

その後、感染はさらに拡大し、緊
急事態宣言が発出されました。臨
時会では、街の声を盛り込んだ補
正予算を可決しました。そのよう
な状況下で、いまこの街に必要な
のは何か、議会が出来ることは何
かを議員間で議論しました。工夫
して一般質問する議会もあるので、
やり方を変えて出来ないか。議員
の中にも様々な意見がありました
が、コロナ対策の素早い実施のた
め、断腸の思いで6月議会では一
般質問を見送ることとなりました。
議会の想いはただひとつ。街の
声を聴いて形になったコロナ対策
を必要としている方へいち早く届
けたい。

こんなときこそ 困っている人の支えに

大山崎町社会福祉協議会 総務課長 阿久根 猛さん

！ 社協が活用した町の補助

医療機関や福祉・介護施設を対象に、コロナ対策に使う資材購入費の3/4（1施設上限30万円）を補助する町の独自策

届 活用しやすいように対象の資材を限定せず幅広く認めて

普段は高齢者の訪問やデイサービス、障がい者の外出支援、相談など福祉全般の他、町の委託で介護予防の体操指導や長寿苑の運営などを行っています。

社協では、保健師や看護師、地域の状況を把握している担当者で新型コロナウイルス感染防止対策チームを作り、感染防止の対策をしながら、各種サービスを行っています。また、特例総合支援貸付ではコロナの影響で生活が困難な方

から多くの相談・申請を受けました。

社協では、こうした活動のときに使うマスクやフェイスシールド、消毒液、体温計などを町の補助で購入しました。

再び感染拡大によって、サービスの提供停止や縮小による運営面での不安もありますが、住民さんを支えていけるよう社協を多くの人に知ってもらい、町とも助け合っていきたいです。



困ったらまずは相談を

希望するすべて のお客様に使ってほしかった

Café IMAMURA さん

！ 飲食店販売の食事券

町内飲食店で使える 3,000円相当の食事券を 2,000円で 2,000 セット発行する町の独自策

届 町から飲食店へのプレミアム分の振込は早期に



食事券の利用は9月末までに

町内飲食店を応援頂くプレミアム付き食事券は、お客様に好評で店舗としても有り難い事業だと思いましたが、ただ、販売時期と住民への告知時期に時間差があり、食事券が紹介された町広報誌が皆さに届いたときには既に売り切れてしまい、お客様のご要望にお応えすることが出来ずに心苦しく思いました。

コロナ禍の中、多くの事業所、店舗が痛手を受けられたと思います。売上が落ちた町内全店舗でなく飲食店だけに使える券だったので、他のご商売をされている方々に対しても何か支援策をご検討いただきたく思います。今後も町全体を元気にする企画を計画していただきたいと思います。

コロナ禍の街に議会ができること

大切な街の声を

聴

コロナ対策予算で実施された事業に対する街の声を紹介

届

予算審査などを通じて町に届けた街の声を紹介

わたしたち議会が日ごろ大切にしている街の声を、緊急事態宣言中の臨時会の「あのとき」とコロナ対策予算の事業実施後の「いま」を通じて紹介します。

町のコロナ対策（広報臨時号）



安心して事業を継続 できるように

大山崎町商工会 会長 五島 幹也さん

！ 商工会とともに相談窓口設置

国の雇用調整助成金や持続化給付金などの仕組みの説明、申請書作成支援のため、社会保険労務士などによる専門の相談窓口を設置する町の独自策



今後の相談日程

届 申請が難しく大変なので相談から申請まで丁寧なサポートを

町には、業種や規模を問わず、全ての事業者の方が安心して事業を継続できる支援策を期待しています。また、新しい生活様式での挑戦への積極的な支援や従来の業態にとらわれない多様なビジネスチャンスを創り出す支援策にも期待したいです。

商工会は、町や住民、事業者のみなさんがこれらの支援策を通して、連携して大山崎町が持つ魅力を再発見するきっかけづくりに注力したいです。

町の相談窓口設置は、国や府の様々なコロナ禍への対策に繋げるコロナ対策です。商工会が行う経営相談と合わせて、6月と7月の2か月で相談窓口を8日間設置し、多くの方に相談にお越しいただきました。



今後も相談窓口を設置します



しお やすむ 渋谷 進 議長

コロナ禍
一緒に
乗り越え
ましょう



いのうえはる お 井上 治夫 議員

自粛要請と
一体の補償を
早く！



か く し みつる 嘉久志 満 議員

コロナ禍での
新生活様式の
構築を

あなただけ 議会の想い

12人の議員からのメッセージ



つじ ま り こ 辻 真理子 議員

感染対策を
振り返り
今後に反映を



きしたか お 岸 孝雄 議員

感染拡大への
備えと
影響の最小化



にしだ てるひろ 西田 光宏 議員

新生活様式は
大切な命を
守ります



いのうえひろあき 井上 博明 議員

正しく恐れて
適切な
日常生活を



しまかずよし 島一 嘉 議員

中国依存から
国産・地元へ
転換



あさ こ な み 朝子 直美 議員

ひとりでも
ご相談ください



きたむらよしふみ 北村 吉史 議員

コロナ第2波に
最大限の注意を！



は ま な か い っ せ い 山中 一成 議員

自分を
護ることが
社会を護る



やま な か い っ せ い 山中 一成 議員

みんなで
乗り越え
ましょう！

コロナ禍の 街に議会が できること

必要な人に早く支援を

支

援が必要な人はたくさんいて、必要な支援はそれぞれ異なる。そうした様々な支援が行き渡るように、街の声が反映された予算を全会一致で可決しました。

議会の想いはただひとつ。少しでも早く必要な人に支援を。そのために何ができるのか。町の一般質問への対応時間や労力を支援に充ててほしい。そうした思いから、一般質問を見送りました。それが、「いまこの街に議会ができること」です。その想いを、12人の議員がそれぞれの言葉にして届けます。

気づいたら読んでいた

季刊議会

令和2年9月1日発行(次回は12月)

臨時会・6月議会の全議員賛成議案の一部を紹介

傍聴のみならずには、密な状態を避けるため、議場や委員会室以外の場所での傍聴にご協力いただき、ありがとうございました。9月議会では、より傍聴しやすいように取り組みます。



全議案の
議決結果

6月議会

コロナ対策

4月 特別定額給付金
(10万円)

5月 上下水道料金の免除など
町独自のコロナ対策

6月 コロナ対策の意見書を
国に提出



予算 二山小の緊急修繕

危険 DANGER 危険

・昇降口天井などからのコンクリート片落下防止
・正面階段付近の通行困難箇所や校舎外階段と正門のコンクリート擁壁の修繕

議員の声

計画的な
大規模改修はどう
考えているか

損傷の程度などから判断した結果、二山小の後に一山小の改修を考

人事 11人を選任・任命

公平委員

上田 憲治さん

小泉 昇平さん

農業委員

三宅 温さん

上羽 孝昌さん

垣内 兵次さん

平井 章司さん

吉田 正幸さん

小川 宗樹さん

西村 淳子さん

小泉 享さん

町は、自校式の小中学校給食施設設計費用を予算化

小学校給食室検討調査結果などをもとにした費用を議会に報告

経費比較資料で意見が分かれ
小中学校の設計費用を削除

議会賛否の声

- ・小学校給食室の衛生基準を満たす改修費用・運用経費を明確にしたうえで、自校式・センター式の比較を
- ・衛生基準を満たす改修と中学校給食は同時に進めていくべき

町は、衛生基準を満たす検討と中学校自校式設計費用を予算化

小学校の検討調査結果後に判断をと、中学校の設計費用を削除

議会賛否の声

- ・センター式の設計は8割完成している
- ・自校式ではなく、センター式への方向転換を
- ・小学校の衛生基準と中学校給食は別問題
- それぞれ早期に対応すべき

町は、中学校自校式設計費用を予算化

小学校の衛生基準が問題として
中学校自校式の設計費用を削除

ちょっと待った



これまでの、経過

一般会計
補正予算

小中学校
給食予算

3度目の

ちょっと待った



基本設計業務
修正可決
で削除

いつ始まる!? 中学校給食
小学校の衛生基準は!?

給食特集

整理
6月、論点

今回のセンター式と自校式か

両方式の前回と今回の金額の差か

- ! 4年前の経費は自前で算定
- ! 今回は大部分が業者の見積り

何の経費を比較!?

今回のセンター建設費算定の正当性は

前の検討委員会みたいに多面的な比較を

求めていた比較資料ではない

6 賛成

自校式とセンター式の
経費比較資料で意見

割れる

給食予算

削除



正確な比較ができなくても概算は分かる

議会修正案
6月、主張

今回の見積りは自校式の方が金額が低い

金額以外のメリット・デメリットも議論を

5 反対

! 両方式の必要額が逆転!?

平成28年度の中学校給食検討委員会の報告書では、自校式よりセンター式の経費が低いとなっていた。しかし、6月議会に町が提出した資料では、自校方式の経費が低いとなっているため、経費比較資料について意見が分かれた。

比較資料
(教育委員会作成)



ここで意見が割れている

どこまで正確な図面!?

- ! センター式詳細図面はほぼ完成
- ! 自校式図面は基礎的な配置で

精度に差が...

正確な図面は高額に...

町の説明

- ・自校式を進めるための資料である
- ・両方式を比較するための資料ではない
- ・センター式の詳細図面はほぼ完成していた
- その図面に基づき建設費は算定

町の説明

- ・今後も出せる資料は出していきたい
- ・両方式の比較条件は同じではないが
- 今回の結果は自校式の金額が低い
- 検討委員会の金額は町の試算だが
- 今回は業者からの見積金額である

6月議会

気づいたら読んでいた

令和2年9月1日発行
(次回は12月)

全議案の議決結果



方法は違えど想いはひとつ

早期に 中学校給食開始・安心な小学校給食室

学校給食予算削除に対する

そのための

私の

主張

6月議会での
学校給食の
議員の討論



議会で最初に中学校給食を議案として審査してから約4年が経過しました。町政が変わり、給食の方針も転換するなどありました。でも、いつのときも、よりよい形で給食を早く実現したい、議会の想いはその一点です。

学校給食のこれまでの経過
(議会だより前号)



私の主張

小中3校自校給食整備
予算3回目否決大義無



反対派主張コスト真逆
センター式給食5億円
自校方式大幅安価判明
二十年比較一食百円差
長岡京市十七校自校式

波多野議員

私の主張

食の安全と持続可能性を
両立させた施設を



小学校敷地内への給食施設新設改
築案に基本構想の曖昧さが指摘され
る。課題整理が必要として修正を求
める。

岸議員

私の主張

できたてのおいしい給食を
早く子ども達に！



私たちは、学校内に給食室を置く
「自校方式」が教育の観点から重要
と考え、町の提案に賛成し早期実現
を求めてきました。住民から「自校
方式は高いのでは」「小学校の給食室
整備はできるの」との声を聞き、近
隣自治体の実態も調べ「自校方式が
安い」ことを確認しました。町から
議会に「自校方式が安い」「小学校給
食室の国基準を満たす整備は可能」
との調査結果も示され、疑問は解決
されました。一日も早い実施を求め
ます。

井上治・辻・朝子議員

私の主張

税金で作成した専門家資料を
正しく読むべき



新自校案は建設費運営費も安く校
庭を狭めず建設できる。議会は建設
を判断すべき時である。予算削除修
正案に反対します。

井上博議員

私の主張

食の安全と早期実現を
しっかり話し合おう



中学校給食検討委員会で検討の結果
センター方式とされ、センター方
式で進んでいたものを止めたのは前
川町長です。我々は自校方式とセン
ター方式を比較検討することを求め
ているが、今議会に提出された資料
は自校方式を実施するために作成さ
れた資料であり比較検討用ではあり
ませんでした。
自校方式ありきではなく同じ基準
で大山崎町の未来を考えて議論する
ことが我々議員の使命であります。

北村・島・山中・西田議員

私の主張

同一基準の比較検討資料
のもとで議論を



行政施行された案件は、途中で阻
止することが出来ない。本町の将来
負担を軽減する手法の議論が必要で
ある。

嘉久志議員

未来につなげたい、こどもたちの笑顔

議会がどの方法で給食を実現するか
決められていないのは事実です。そ
のような議会に対する街の様々な声も届
いています。そうした声も真摯に受け
止めながら、大事なことはきちんと議
論していく。学校給食を児童・生徒・
保護者にとってよりよい形で実現した
い、将来の財政負担をできる限り小さ
くしたい。だからこそ、この街にとつ
て最善の方法はどれなのか議会は議論
しています。
学校給食を通じて、こどもたちの笑
顔を未来につなげていきたい。そのた
めに学校給食の在り方は責任をもって
決める。それが議会の役割だから。



議会よ 想いを形に
前の選挙のためではなく
次の選挙のためでもなく
目の前の課題を解決するために
議会はいかにあるべきか
その道をまっとうするために
議会よ 想いを形に



大山崎クラブ



公明党



日本維新の会



日本共産党議員団



保守・本流・のぞみ



無所属の会

206,912 円支出／24 万円交付

視察

26,145 円支出／6 万円交付

資料購入

57,500 円支出／6 万円交付

資料購入

166,714 円支出／24 万円交付

視察、広報活動、会議、資料購入

58,593 円支出／6 万円交付

広報活動

辞退

内訳はこちら



各党派がここに使った

町からの

議員活動費

使途、公開

議員
一人あたり
月額5千円
交付

令和元年度
支出明細を公開
どなたでも
まずは事務局に

令和元年度の活動費は「視察」の支出割合が増えましたが、「広報活動」支出の割合が減りました。また、平成30年度には支出があった「研修・会議」や「事務費」などは支出がありませんでした。活動費がどう使われたかで、議員活動の裏側が見えてきます。たまには少し違った視点で議会を見てみませんか。

活動費の傾向

| 令和元年度 | 平成30年度 |
|-----------|-----------|
| 515,864 円 | 464,461 円 |

前年に比べて
1割増加



いよいよ始まる

9月、議会

令和元年度の事業を16 17 18 の3日間みっちり審査

本会議

議案説明

8/31(月)

本会議・予算決算・広報は10時から
その他は13時半から

委員会審査

一般質問

9/8(火)～10(木)

総務産業

9/11(金)

建設上下水道文教厚生

14(月)

予算決算

15(火)～18(金)

広報・全員協議会

3(木)

議会改革

討論・採決

25(金)

あなたの声を

請願陳情



9/1(火)
午後5時まで

発行 大山崎町議会

編集 広報常任委員会

委員長 辻 真理子

副委員長 島 一嘉

委員 嘉久志 満

岸 孝雄

波多野 庇砂

井上 博明